

# 国際交流のひろば

## 「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

自然系教育実践コース（理科）の古屋光一 教授から、海外との研究交流事業の寄稿をいただきましたので紹介します。

2018年11月11日から11月17日まで、ニューヨーク州立大学バッファロー大学（University at Buffalo, アメリカには国立大学がありません。NY州立大学で最大の大学です。）で理科教育を専門とするノエミ・ウエイト博士（大学院准教授）が上越教育大学に来ました。

日本の理科の先生方が探究学習についてどのような考えを持っているか、アメリカの理科の先生はどうか、共通の部分や異なる部分があるかもしれないと思い、私たちは協働で調査を始めています。また、11月14日の夕方、学部生・大学院生でアメリカの理科教育に興味を持っている学生さん達を対象に、講演をして下さいました。内容はアメリカの学習指導要領（これはNGSSと呼ばれます）の特徴、ニューヨーク州立大学バッファロー大学での教員養成の様子（この大学では28歳にならないと本免許を取ることができない制度）、そしてノエミ先生が研究している内容についての講演でした。発表後、学生さん達の積極的な質問に答えながら、「とても良い質問がいっぱい」と喜んでいらっしました。これからも共同研究を続けていきます。



ノエミ先生（本学の中庭にて）



アメリカの理科教育について（講演後）

## 海外教育(特別)(実践)研究C(韓国)報告会

12月6日（木）12時から人207において、「海外教育(特別)(実践)研究C(韓国)」の報告会を行いました。平成30年9月12日～19日の8日間、本学大学院生5名と引率教員2名が、韓国教員大学校を訪問し、附属小学校で授業実践を行いました。また、文化研修やソウル新龍山小学校での授業実践等も実施しました。報告会では、実習で得た学びや経験など、韓国で充実した時間を過ごしてきたことについて、参加学生が報告しました。



報告会



韓国教員大学校にて（9月）



## 世界を語ろう!

12月5日から全3回、水曜日のランチタイムに「世界を語ろう!」を行いました。留学生交流プラザに留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化、生活、言葉などについて一緒におしゃべりしながら交流しました。

今年度は、アルフレッドさん(マラウイ)、陳沛羽さん、謝承志さん(台湾)、井関貴博さん(M3、日本)が語り手となり、参加者と一緒に、和気あいあいと語り合う和やかな時間となりました。



12/5 The warm heart of Africa -MALAWI-



12/12 台湾いろいろー歡迎來臺灣ー



12/19 チャモロダンスとグアムの図書館の紹介



## 外国人留学生との意見交換会

12月12日(水)16時30分から人113において、外国人留学生との意見交換会を実施し、留学生、チューター、教職員など41名が出席しました。近藤留学生支援専門部会委員が司会進行し、小グループごとに意見交換をしました。

留学生からは、日頃の悩みや考えていることの見解・要望が出され、アドバイスや解決方法などが話し合われました。この会で得た意見は、今後の留学生支援につなげていきます。



## 外国につながる子どもたちへの修学支援事業 「冬休みの宿題教室」「冬の勉強会」



12月22日(土)9時30分から「冬休みの宿題教室」を実施し、留学生及び日本人学生18名が支援者として、外国につながる児童生徒17名が持参した冬休みの宿題の学習支援を行いました。また、13時から「外国につながる子どもたちの教育に関する冬の勉強会ー私の試行錯誤ー」を行いました。留学生及び日本人学生、上越国際交流協会の職員や日本語支援員の方々との意見交換を通じ、支援の工夫の糸口を見つける機会となりました。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)